

BOUN SYUNJU

BOUN SYUNJU
Numero 02
Autunno 2017

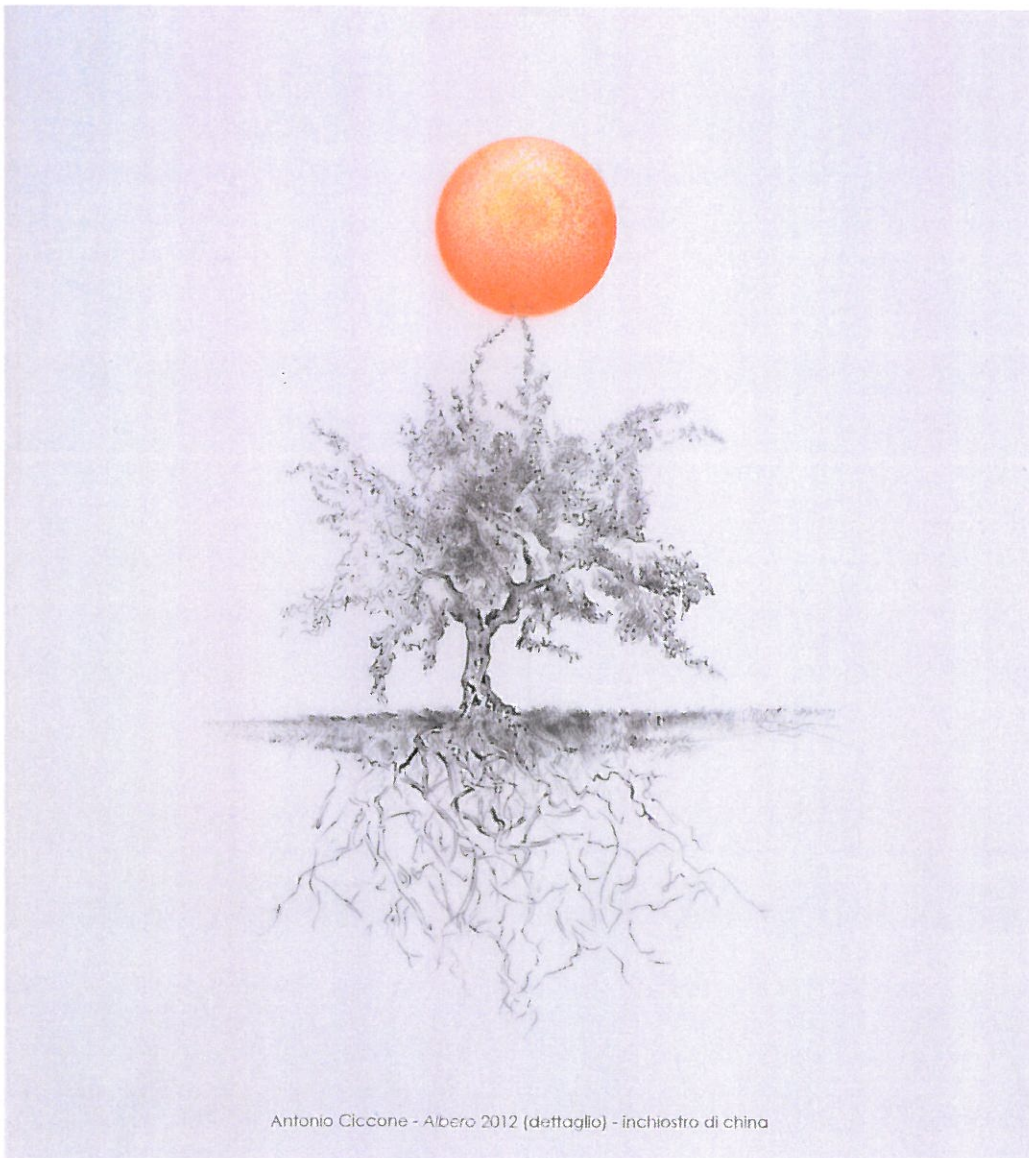
暮雲春樹

SPIGA 穂

歌集「SPIGA 穂」
pop-up art 展
音楽 俳句ジャズ

庄五郎 - 大田 敏彦
エレナ ロンバルデイ - 岩崎 仁美
ヴォーカル / ニコレッタ カストラカーネ
コントラバス ルイーダ ブラズィオーリ

ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世のガッレリアミラノ



Antonio Ciccone - Albero 2012 (dettaglio) - inchiostro di china

BOUN SYUNJU 暮雲春樹

「 暮雲春樹 」

読む ではなく 出会う 為に。

BOUN SYUNJU 暮雲春樹

N. #02 - 2017

歌集「 SPIGA 穂 」

- 庄五郎 - 大田 敏彦

pop-up art 展

- エレナ ロンバルディ - 岩崎 仁美

音楽 俳句ジャズ

- ヴォーカル | ニコレッタ カストラカーネ
- コントラバス ルイーダ ブラズィオーリ

後援

- (在ミラノ日本総領事館)

運営

- Associazione Culturale C13 Venezia
- 五郎窯 大阪
- Associazione Culturale Giappone in Italia
- Libreria Bocca

テクニカルスポンサー

- Associazione italiana maggiordomi



ボッカ書店

書店 La Storica Libreria Bocca は 1775 年に Asti の生まれ故郷であるトリノの街で、Giovanni、Antonio、Sebastiano、Secondo の Bocca 4 兄弟により誕生しました。

今日 恐らく Bocca 書店は現存する最古のものでしょう。過去にはパリ、フィレンツェ、ローマ、トリノとミラノの 5 店ありましたが、現在はミラノの店を残すのみです。

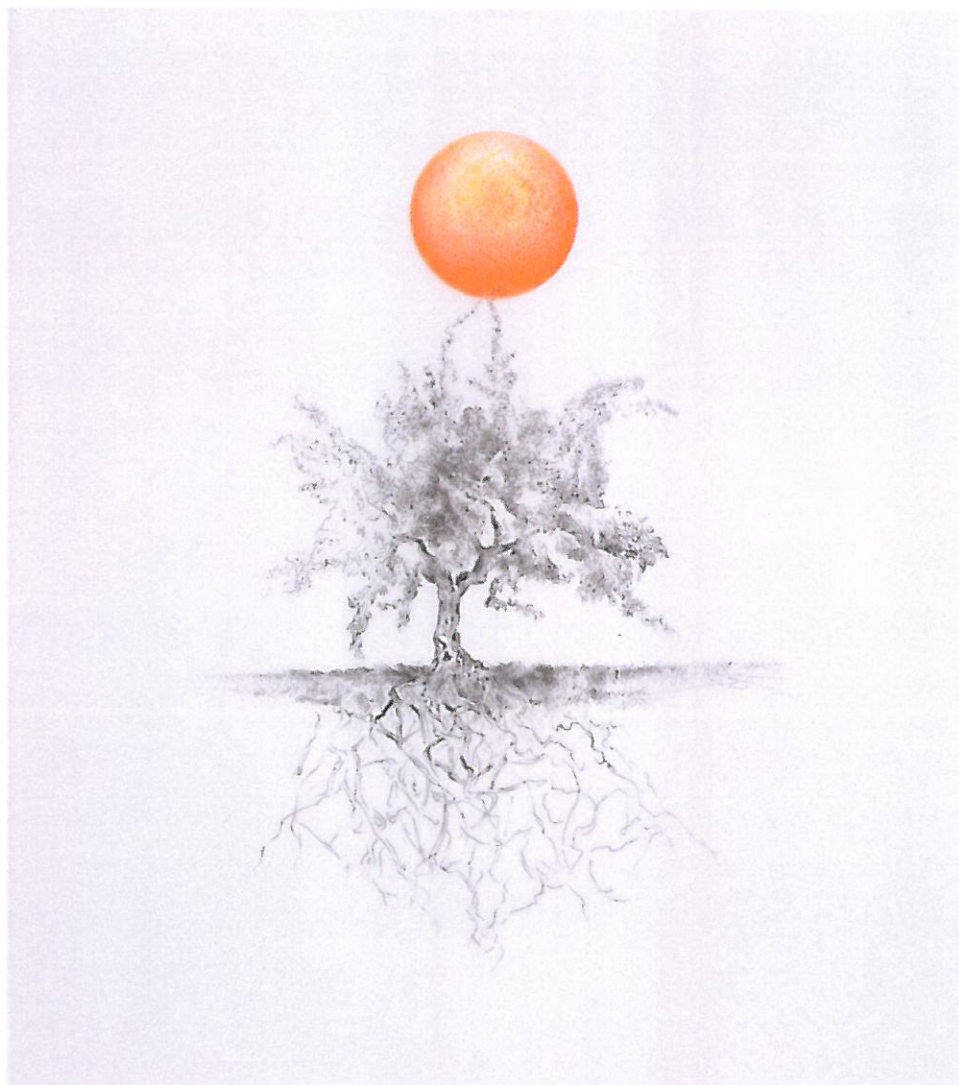
長らくイタリアという国の命運と共に歩んできた書店は、Savoia 王家御用達でありました。この国の文化は、文学という側面において、Gioberti, Pellico, Previati, Segantini, Nietzsche, Kierkegaard, Freud 等の作家を抱える出版社間の対立から大きな負債を抱えていました。

Giorigio Lodetti 氏のお蔭で、書店は芸術家との出会いの場所となっていました。

最近では山本 浩二氏、松山修平氏、大木 泉氏 などのアーティストがこちらを訪れています。



歌集 “SPIGA 穂” 庄五郎監修のアートプロジェクト。日本人歌人 大田敏彦氏と イタリア人歌人 Christiana V. Ciccone による俳句集。自然の基本五行 木 火 土 金 水 の五つの章から成り、それぞれに 二人による春夏秋冬の4首、計40首が収められています。各章の扉は イタリアフレスコ画界の巨匠 Antonio Ciccone 氏が、この歌集、それぞれの章の為に描きおろした鉛筆画で見事に飾られています。



Antonio Ciccone 氏 作品名 木 (*Albero*) 2012 年 鉛筆画

その時彼は遠くから私を見つめていた。 一本の鉛筆が私という人物を描いていくかの様に。彼の視線は私の心の中までも見透かしたかと思うと、おもむろに彼はカメラを取り出して私の顔を記録する為に写真を撮った。

ステファノ・ジリオ フィレンツェにて 2015 年 9 月 21 日

アート：pop-up 展

エレナ・ロンバルディと岩崎仁美、二人のアーティストは近年イタリアと日本にて頻繁に文化交流となる展覧会を行っています。今回は 歌集 Spiga 穂の大田敏彦氏と Christiana V.Ciccone 氏の俳句が表す五行、四季から着想を得た作品をそれぞれ発表しています

これまでのグループ展

URBAN MAZES - LABIRINTI URBANI - ヴェネツィア - Campo San Vio -

Wanderlust 風来坊 -ヴェネツィア - スパツィオ Bocciofila

Wanderlust 風来坊 -大阪 -中之島フェスティバルタワ

兎 Mei - 大阪 スパツ五郎窯

De: Rerum Mirabilia 母なる自然 - ミラノ - Fondazione Matalon

WUNDERKAMMER - ヴェネツィア - スパツィ il FORTino

神々のエピログ Epilogo/Prologo -ボローニャ -ミュージアムと国際音楽図書館

PANTA REI 万物流転 -京都-京都伝統工芸館 京都市中京区烏丸通三条上ル

バタフライ エフェクト -大阪 SUNSO-AN GALLERY

TELLURIC 地球型惑星 -大阪 スパツィオ アルテ

イタリア香川文化会館 - Italy Kagawa Culture Center - 高松市

エレナロンバルディ氏は下記展覧会にも出展しています

AD EST DI NESSUN OVEST –パドバ Centro Culturale Altinate San Gaetano

ON THE WAY – バリ島 - Secret Garden

PRESENTATION COLLETTIVO C13 – ヴェネツィア- Campiello Barbaro

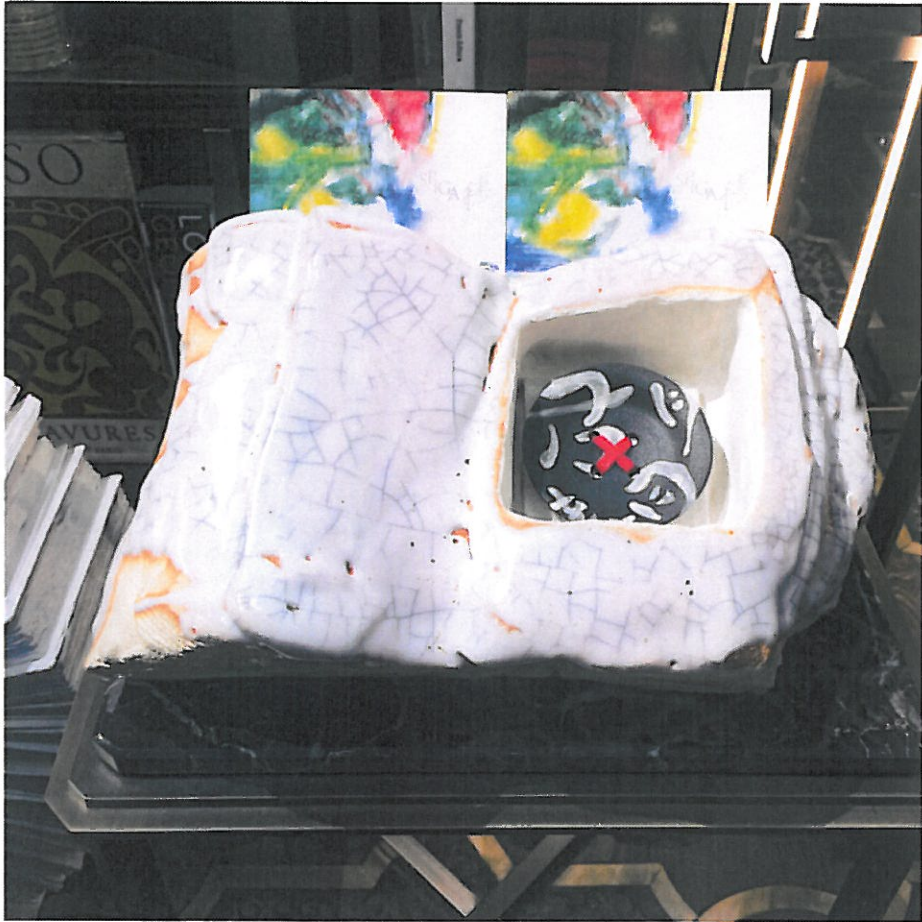
FRONDE - ヴェネツィア Scoleta dei Calegheri

Ragnarok ラグナロク - ヴェネツィア - スパツイ il FORTino

TIME TO CHANGE - - pop-up 展 SPACE –コペンハーゲン デンマーク



pop-up 展エレナロンバルディ



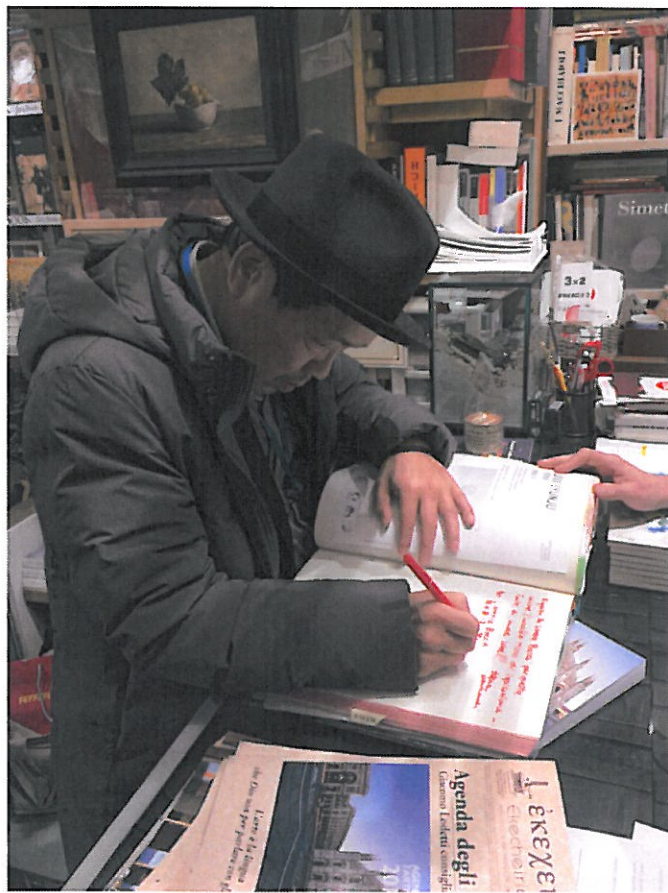
pop-up 展岩崎 仁美



ヴォーカル|ニコレッタ カストラカーネ * コントラバス ルイージブラズィオーリ

音楽：俳句ジャズ

ヴォーカル | ニコレッタ カストラカーネ氏とコントラバス ルイージブラズィオーリ氏は俳句と音楽の協調の可能性を探求し始めました。俳句が描く世界のイメージが音楽と出会うことで、ジャズが持つ魂を呼び起こす様な強さと、俳句が持つ瞼の裏に広がる情景の濃さが織りなす、新たな魅力ある空間が繰り広げられました。





ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世のガッレリア ミラノ

芸術に夢中なのは誰？ 勿論 ミラノでの特別な一夜では皆がそうでした。芸術集団 C13 – とりわけ陶芸に秀でたイタリア人アーティスト集団 – が庄五郎氏率いる日本の陶芸家集団とのコラボレーションで、他に類を見ないイベントを行いました。

今回のイベントではアートの出会いの可能性は更に広がっていました、詩（俳句）、音楽そして目に見える（陶器）作品。参加しているアーティスト達は皆平然と、協力を惜しまず、たった一夜の印象深い瞬間を作り上げているのです。

様々な芸術を生み出す上でその源となるのは自然、宇宙の 5 要素すなわち、木火土金水。

芸術という旗の下にイタリアと日本という異なる二つの文化が一つに成りえる、そこにある大きな友情と協力には驚きました。

New York の pop-up exhibition から着想を得た、暮雲春樹 # 0 2 というタイトルの今回のイベントにおいて、その展覧会場 - 何世紀にも渡るミラノのサロン、ガレリア内 Vittorio Emanuele 通りの書店 Libreria Bocca- は決して大きいものではなく、しかしだからこそ観客はアーティスト達とも近づいて、その作品 - ジャズ音楽、俳句そして陶器作品を、それらが奏でる一つのメロディーを間近で、肌で感じる事が出来ました。

そして 1775 年に生まれたこの印象的な空間は現代に至っても尚時代の流れや変化の目撃者であり続けるのでした。

ラウラ氏（About Italy 誌）



pop-up 展エレナロンバルディ

全ては庄五郎氏とステファノ・ジリオ氏との出会いから始まったのでした。後に彼らの出会いは暮雲春樹というタイトルのイベントを通して、芸術的で思想的な意味をも持ち始めます。

暮雲春樹

暮れてゆく夕焼け空芽吹く春の樹木を見るにつけ ああ君は今何処でどうしているのだろうか、この同じ空の下のどこかで元気に暮らしているのだろうか 同じように季節の移り変わりを感じているのだろうか （杜甫の歌より）

芸術を語る上で、芸術家にとって大切なものは 観察、想像、考察、経験、現実です。そして絆とは、人類が生まれながらにして魂の中に持ち合わせていた現実から派生しているものです。

2017年5月2日 今回と同じミラノは Libreria Bocca 書店において、イベント暮雲春樹の第一回が開催され、そこでは庄五郎氏とアーティストであり友人でもあるステファノ・ジリオ氏による創造的で思想的な講演が行われました。そこに端を発して、この 暮雲春樹 という言葉はインターネット上の雑誌の名前となり、それは読み物というより出会うものとして、いまや Web 上に於いても失われつつあるアーティストと観客との間の、人としての出会いを再構築していくことを目指しています。

今回の暮雲春樹イベント第二回は “spiga 穂” です。これは大田敏彦氏、Christiana V. Ciccone 氏二人の歌人による俳句集のタイトルであり、自然を司る五行 “木 火 土 金 水” それぞれの章に四季一歌ずつが織り込まれています。各章の扉絵にはフレスコ画家として世界に名を馳せる Antonio Ciccone 氏がこの歌集の為に描いた鉛筆画で参加されています。

大田敏彦氏本人のほか、これまでも伊日間で様々な展覧会でそれぞれに出展者として芸術交流を図ってきたエレナ ロンバルデイ氏と岩崎仁美氏も出席。今回のテーマの為に作品もそれぞれ1点ずつ新たに出展しました。更には歌手ヴォーカル氏及びコントラバス奏者の コントラバス氏も、歌人二人の俳句をジャズ形式の音楽にのせて演奏し花を添えました。

ロゼッタ・サヴェッリ氏

2017年11月15日

BOUN SYUNJU 暮雲春樹

ISSUE #02 ーミラノ 2017年11月21日



大阪



ヴェネツィア